



【令和7年度補正予算（案） 944百万円】

PFASの科学的知見を充実させつつ、汚染拡大対策の支援等を進めます。

1. 事業目的

- ① 環境部局・水道部局連携の下での実態把握・対策
- ② PFOS等の濃度低減のための対策手法、環境中の存在状況に関する知見の充実を通じた安全・安心の確保

2. 事業内容

PFAS（ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称）のうち、PFOS・PFOAについては、主に過去に様々な形で排出されて環境中等に残存していることから、国内各地の地下水等で指針値（合算で50ng/L）の超過事例が生じており、PFAS対策の強化が求められている。

このため、

- (1) 水環境・水道の一体的リスク管理を促す先進的地域モデルの構築
- (2) PFOS等の濃度低減のための対策手法の検討
- (3) 環境中への流出・拡散や環境中の存在状況、小規模水道事業者等の取水状況等に関する知見の収集

を通じ、科学的知見及び対策技術等の収集を図りつつ、科学的根拠に基づく対応を図り、安全・安心を確保する。

3. 事業スキーム

- 事業形態 (1) 及び (2) 委託事業、(3) 請負事業
- 委託・請負先 (1) ～ (3) 民間事業者・団体等
- 実施期間 令和7年度

4. 事業イメージ

